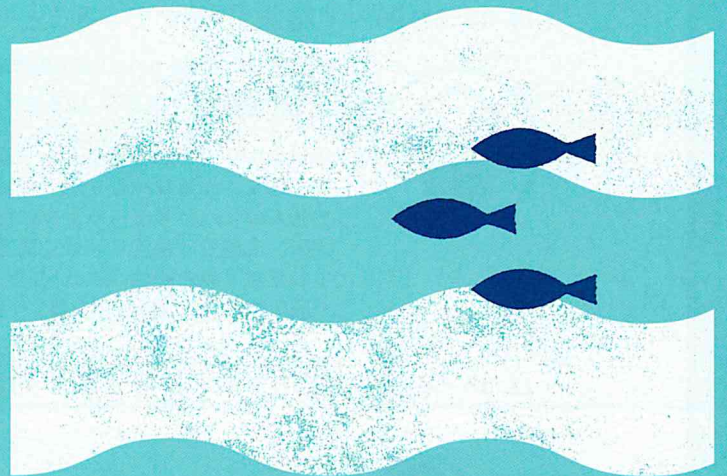




介護を 考える日



平成から令和の時代の流れの中、
「介護」をとりまく環境は明らかに変化しています。
地域共生社会実現政策など、今まで以上に
社会福祉法人の役割が求められていることも事実です。

そのような常に変化が起きている業界全体的な側面と、
日々の業務に追われてしまいその行動の「意味」を
考えながら仕事をすることが難しいという現場の側面。

この2つのギャップについて介護事業に
直接関わる人だけでなく周りの方も含め
一度立ち止まって考えていただきたい。
そのような日を私たちは「介護を考える日」としました。

2019.9.23 (月)

開催時間 13:00-16:00 受付開始、開場は12:30

会場 ホテルメルパルク熊本 中岳の間(3階)
〒860-8517 熊本市中央区水道町14-1
市電 水道町電停から徒歩3分

参加費 無料 主催 有限会社ゆうしん
社会福祉法人伸生紀
医療法人伸生紀

「高齢者ケア — 制度と現場のこれから」

第1回目の「介護を考える日」では制度のプロと現場のプロ2名に登壇頂きます。

変化していく介護保険の今とこれから。そしてそれに対して今考えるべきこと。

多様なニーズに合わせた現場の介護について、今考えるべきこと。

「森」と「木」それぞれの視点で皆さんも一度立ち止まって考えていただければ幸いです。

12:30-13:00 受付時間 13:00-13:05 主催者挨拶

13:05-14:00 「どうなる介護保険 - 課題は認知症ケアと看取り -」



ジャーナリスト(元・日本経済新聞社編集委員)
浅川 澄一 (あさかわ すみかず)

慶応大学卒業後、日本経済新聞社に入社。87年11月に月刊誌「日経トレンド」初代編集長に就任。流通経済部長、マルチメディア局編成部長、編集委員と様々な要職を歴任する。退職後、公益社団法人長寿社会文化協会常務理事に就任。現在「高齢者住宅新聞」で連載コラムを執筆。「ダイヤモンド・オンライン」でも「医療介護・大転換」を連載中。

14:05-15:00 「施設介護でできること - 個別ケアに必要な職員と家族の覚悟 -」



理学療法士・生活とリハビリ研究所代表
三好 春樹 (みよし はるき)

1974年から、特別養護老人ホームで生活指導員として勤務後、文部省大学入学資格検定を経て、九州リハビリテーション大学校で学び、理学療法士として老人介護の現場で老人のリハビリテーションに従事する。1985年、広島に事務所を立ち上げ、東京、大阪、広島で「生活リハビリ講座」を開始。
主な著書「完全図解 新しい介護 全面改訂版」「実用介護事典 改訂新版」(講談社)「関係障害論」「認知症介護」「野生の介護」(雲母書房)など多数。

15:05-16:00 浅川さんと三好さんの対談「本人本位のケアの在り方とは」



司会

FM熊本
鬼塚 えりこ (おにつか えりこ)
メインパーソナリティ: 英太郎ホールディングス(木曜15:00~15:55)

参加申込方法 FAXもしくは電話からお申し込みください 参加申込締め切り9/18(水)

FAX

096-368-6923

TEL

096-367-0565

有限会社ゆうしん
(担当:石本)

個人申込の場合

参加者氏名

住所 〒

TEL

FAX

団体申込の場合(2名以上申込)

事業所名

申込代表者氏名

住所 〒

TEL

FAX

参加人数